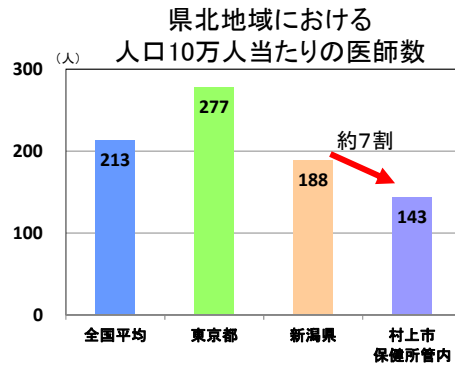
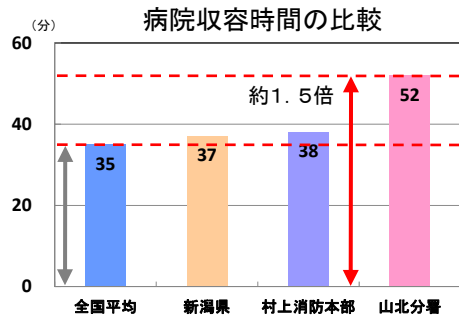


日本海沿岸東北自動車道延伸による高次救急医療圏域の拡大

- 新潟県北地域は、高速道路ネットワークがつながっていなかったことで、第3次救命救急医療施設への搬送に時間を要していた。
- 日沿道 荒川胎内IC～神林岩船港IC間の供用により、村上市から第3次救命救急医療施設である県立新発田病院までの搬送時間が 約6分短縮。
- その結果、県立新発田病院までの60分圏域人口が 約1.7万人増加した。



県北地域の医師数は
県平均の約7割

高速ネットワーク
の整備により通院
可能範囲の拡大や
通院負担が軽減

出典：総務省消防庁／ヒアリング提供資料（村上市消防本部）

出典：平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査、H21福祉保健年報



高速道路がない県北地域は、**全国平均の約1.5倍** 搬送に時間がかかる。

第3次救急医療施設に60分以内で
到達できる村上市の人口

荒川胎内IC供用後 約32,300人

神林岩船港IC供用後 約49,500人

約1.7万人増加

村上総合病院～県立新発田病院
への所要時間が短縮

開通前 約47分

開通後 約41分(6分短縮)

県立新発田病院
(第3次救命救急医療施設)

県立新発田病院から
60分以内に到達できる範囲

荒川胎内ICまで開通後

神林岩船港ICまで開通後